

利 南 幼 稚 園

所在地 〒378-0014 沼田市栄町141番地
電話番号 0278-23-1071 FAX 23-1186
園長名 森下 和樹

I 園の経営

1 園の教育目標

『人間性豊かで心身共にたくましい子』

・明るく元気な子 ・友達と仲良く遊ぶ子 ・豊かに表現する子

2 経営方針

個々の発達の特性を踏まえ、意図的・計画的に環境構成を工夫した保育実践

- (1) 協同性を高めるための環境構成の工夫と保育実践
- (2) 教員の持ち味を活かした組織的な「チーム保育」
- (3) 自己肯定感を育む主体的活動の推進
- (4) 心の育成をねらいとした計画的・継続的な活動の充実
- (5) 家庭との連携による基本的生活習慣の確立
- (6) 幼児との信頼関係を築き、安心して園での生活ができる環境づくり

3 本年度の重点施策

(1) 一人一人の特性を把握し、個に適した保育の充実

- ① 幼児が主体的に活動に関わり、協同性や思いやりの心、自己肯定感を育むための保育実践。
- ② 多面的理解をもとに、個に応じた「援助」と「見守り」を基本とした保育の充実。
- ③ 他園との保育交流や行事の中で、エージェンシーを発揮できる支援や環境構成を工夫する。
- ④ 読み聞かせ活動を計画的に進め、絵本に親しみながら様々な思いを感じ、自分なりのことばで表現する楽しさを味わえるようにする。【家族で本を読みましょう】
- ⑤ 専門機関との連携し、園児の特性に合った支援を行う。
- ⑥ 園内研修等を通して保育力の向上と質の高い保育実践をすすめる。

(2) 安全、安心、健康な生活が送れる幼稚園づくり 【セイフティ沼田】

- ① 家庭と連携を図り、具体的な手段を提供しながら基本的生活習慣の確立を図る。
- ② 遊びの中で身体を動かす楽しさを味わいながら体力づくりができる環境の工夫。
- ③ 食物の栽培、収穫を通して食への興味や関心を高め、健康な身体づくりを推進する。
- ④ 各種避難訓練を計画的に実施し、危機回避能力を身に付けさせる。
- ⑤ 安全点検の計画的実施と巡回点検結果を職員間で共有し、事故防止と危険箇所の早期対応を図る。
- ⑥ 定期的な安全点検や点検結果を職員で共有し、改善箇所の早期対応に努める。

(3) 家庭、地域、学校と連携の充実

- ① 降園時、園での様子や学びの姿を具体的に知らせることで、保護者との信頼関係を築く。
- ② 幼・小の『つながり』を意識した小学校との計画的な交流活動の実施。【幼小中連携】
- ③ 保育参観や個別面談等を通して、安定した親子関係づくりを支援する。
- ④ 地域の人や、文化等に触れる交流・体験活動の機会を増やし充実を図る。【沼田未来創造学】

Ⅱ 園内研修の推進

1 研修主題及び設定の理由

主題 副主題	～研修主題～ 少人数保育の中で、互いを認め合い共に成長できる幼児の育成 協同的な活動を通して
-----------	--

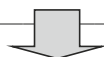
幼児の実態との関わり

- ・年長組になり、友達と一緒にルールのある遊びを楽しめるようになってきている。
- ・遊びが長続きせず、独自のルールを提案するなど、まだまだ自分のしたい遊びを楽しむ幼児の姿が見られる。
- ・自分たちよりも年下の学年がいないため、年長組としての自覚が不十分なところが見られる。
- ・少人数の限られた環境の中でこれまで生活してきているので、何も言わなくても友達を理解し、譲ってあげる姿等も見られる。もう少し考えや思いをきちんと言葉で伝えられるようになってほしいと感じる。
- ・園内外で出会った人や保護者や教師にも元気に挨拶をする姿が見られる。



指導の在り方との関わり

- ・保育前に教師間で打ち合わせ、当日の活動内容や教師の関わりなどについて擦り合わせをした。行事が立て続いたりして時間が設けられない時には書面での打ち合わせにするなどし、幼児らの交流が意義のあるものとなるように努めた。
- ・保育内容としては、行事や一斉活動の時間が多くなってしまい、好きな遊びを通した幼児同士がじっくりとかかわり関係を深める時間が十分でなかったと感じた。
- ・限られた時間のなかで幼児同士の関わりがスムーズにできるようにと、つい教師が先立った言葉を掛けてしまったように思われる。



2 研修内容・方法

- ・少人数の中での幼児の育成に向けて、今年度は、協同的な活動に重きを置き、研修を進めていく。
- ・協同性を育むための活動の提案だけでなく、日常の幼児の何気ない姿から協同性の育ちにつながる姿を見つけて援助していくことも大事にする。また、昨年度から継続の薄根幼稚園との交流の中でも、幼児同士がじっくりとかかわる時間と場を十分に保障し、協同性が育まれていくような援助に努めていく。
- ・互いを認め合い共に成長できる力を育むため、教師の援助の有効性について実践を通して明らかにする。

(1) 具体化した目指す子ども像

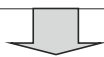
- ・本園の教育目標「人間性豊かで心身共にたくましい子」のうち「友達と仲良く遊ぶ子」に重点を置く。

【5歳児 学年目標】 友達と目的や見通しをもち、遊びや生活をするようになる。

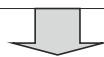
- 【育てたい力】
- ・思いを伝え合い試行錯誤しながら共に活動する楽しさを味わう。
 - ・共に活動する中で、それぞれの持ち味が発揮され、互いの良さを認め合う。
 - ・共通の目的が実現する喜びを味わう。

(2) 共通実践する手立て

- ・期ごとに、5歳児の協同性に視点をあてた指導計画の見直し・改善を図る。
- ・日頃の幼児の姿から協同性につながる姿を捉えたり、保育実践の中で、意図的な場面を設定したりしながら、援助・環境構成を工夫していく。
- ・協同性の育ちについて、個々の実態に合わせた到達目標を指導者側が作成し、実践に活かしていく。
(意図的な場面とは・・・)
- ・友達と思いを伝え合い、試行錯誤しながら活動を展開したり、共通の目的を実現する喜びを味わえたりする場面。



3 研修計画・経過報告 <次頁>



<p>4 これまでの研修の成果と今後の取組</p> <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の協同性の育ちリストを作成したことで、幼児の変容の姿が明確になり、教師の指導や関わり方の目安となり、効果的に指導にあたることができた。 教師側の共感的理解が深まり、幼児の状況への介入に際し、適切な介入ができるようになってきている。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と思いを伝え合う力は育ってきているが、試行錯誤したり、遊びがもっと面白くなる工夫をしたり、問題点に気づいたりしながら修正することが難しかった。 ・個々に向けたきめ細やかな指導と集団全体としての協同性を育むための指導のバランスの難しさを感じた。 <p>○今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が試行錯誤したり、更に遊びが面白くなる工夫をしたりすることができるような、教師の情報提供の仕方提案方法について再考察していきたい。
--

3 研修計画・経過報告

月日	研修計画 [内容]	経過報告 [○研修の視点(上段)・明らかになったこと(下段)]
4.10 5.7 6.9	<ul style="list-style-type: none"> ・研修主題の検討 ・研修内容検討 ・園内研修計画確認 ・構想図作成 ・指導計画検討(1期) ・個々の協同性の育ちについて振り返り 	<p>○前年度の反省及び今年度の研修内容と進め方について</p> <p>○幼児の実態の把握と課題検討、テーマの決定</p> <p>○研修主題についての基本的な考え方と共通理解</p> <p>○研修の内容、方向性について共通理解・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究構想及び目指す幼児像を図式化し共通理解を図る。研修の方向性や内容を図式化することで、一目で見て分かり研修を進めやすくなった。 ○参考文献等から、協同性の育成に向けた環境構成や援助方法を探る。 ・他園の事例を読み解き、協同性を育てるための指導や環境構成で、参考になりそうところは、保育実践の中で活かしていく。 ○年間指導計画における人とのかかわりの内容について共通理解、改善・検討。 ○1期の個々の協同性の育ちについてリストをもとに振り返り、職員間で共有。今後の指導法など検討。 ・「現在の子供の姿」と「目指す幼児の姿」を隣に記すことによって照らし合わせ、今後、必要な指導や課題がみえてくる。 ・「高鬼」の遊びや壁面製作等、友達と活動することは喜んでいますが、自分の思いを通そうとし、トラブルもある。
6.27 7.18 8.27	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程協議会 ・指導計画検討(2期) ・個々の協同性の育ちについて振り返り ・保育実践研究 ・実践事例検討 	<p>○幼稚園教育課程協議会への参加</p> <p>○年間指導計画における人とのかかわりの内容について共通理解、改善・検討。</p> <p>○2期の個々の協同性の育ちについて、リストをもとに振り返り、職員間で共有。今後の指導法など検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動する目的を共有し、そのためにどうしたらいいのか友達と相談しながら少しずつ遊びを進められるようになった。 ○実践事例の分析と今後の方向性(環境や援助の有効性や課題、幼児の変容) 年長『怪盗キッドごっこ』 ・幼児と相談しながらルールを決めていく。友達と相談して決めたルールなため、一人一人がルールを守ろうとする意識が高まった。 ・自分の思いが出過ぎてしまい、友達の思いを受け入れられない時もある。教師の援助や適度な見守りが必要であることが明らかになった。
10.8	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画検討(3期) 	<p>○年間指導計画における人とのかかわりの内容について共通理解、改善・検討</p>

10.8	<ul style="list-style-type: none"> 個々の協同性の育ちについて振り返り 保育実践研究 実践事例検討 	<ul style="list-style-type: none"> 3期の個々の協同性の育ちについて、リストをもとに振り返り、職員間で共有。今後の指導法など検討。 運動会を終え、友達と協力して同じ目的に向かって頑張る等、個々に協同性が育っていることが分かった。友達の意見も少しずつ受け入れられるようになってきた。友達と上手く遊べるための妥協案や交換条件をだせるようになってほしい。 保育実践の分析と改善 実践事例の分析と今後の方向性（環境や援助の有効性や課題、幼児の変容） 保育実践の分析と改善
10.30	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育課程協議会への参加
11.7	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の方向性や研修内容について指導
11.26	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画検討（4期） 個々の協同性の育ちについて振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画における人とのかかわりの内容について共通理解、改善・検討。 4期の個々の協同性の育ちについて、リストをもとに振り返り、職員間で共有。今後の指導法など検討。 友達の良いところを認め合ったり、いけないところを指摘したり教えてあげたり、よい友達関係が築きあげられている。自分の思いを通すだけでなく、友達の思いにも耳を傾け、「じゃ〇〇する？」と交換条件や妥協案をだし、友達と楽しく遊べる方法を子供たちだけで考えられるようになってきた。 共通理解、具体的手立ての検討
12.18	<ul style="list-style-type: none"> 保育実践研究 	<ul style="list-style-type: none"> 実践事例の分析と今後の方向性（環境や援助の有効性や課題、幼児の変容） 年長『ジャックランタンに絵を描こう（ハロウィン）』 教師は、ジャックランタンを作るのに、大きなかぼちゃが1つだけしかない。どうしたらいいか？子供たちに投げかけ、自分たちでじっくり考えられる時間をつくる。 「みんなで作る！」と発言する子、「どんな風に、目・鼻・口を描いたらいいか」聞く子、だれがどの部位を描くか提案してくれる子等、様々な協同的な姿が見られる。 子供たちだけの力で、友達と相談しながら協力して、1つのジャックランタンを作り上げる。成長を感じることができた。 今後も、子供たちが友達と協力して成し遂げる喜びが味わえるような援助に配慮していく。
1	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画検討（5期） 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画における人とのかかわりの内容について共通理解、改善、検討
2	<ul style="list-style-type: none"> 個々の協同性の育ちについて振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 5期の個々の協同性の育ちについて、リストをもとに振り返り、職員間で共有。今後の指導法など検討。
3	<ul style="list-style-type: none"> 研修のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題、幼児の変容について

< 職員一覧 >

職名	氏名	職名	氏名
園長	森下和樹	教諭	富澤逸希
教諭	戸部葵	用務員	大竹秀男

薄 根 幼 稚 園

所在地 〒378-0064 沼田市善桂寺町78番地
電話番号 0278-23-0651 FAX番号 0278-23-0588
園長名 小室 昌頭

I 幼稚園の経営

1 幼稚園の教育目標

人間性豊かで心身ともにたくましい幼児

○明るく元気な子（重点目標）○仲良く遊べる子 ○豊かに表現する子 ○進んで取り組む子

2 経営方針

○「幼児の笑顔のために…」園、家庭、地域が協力して子どもを育てる幼稚園

- (1) 友達と関わる中で自他の良さを認めながら、主体的に活動し豊かに育つ幼稚園
- (2) 様々な体験を通して幼児が伸び伸びと自己発揮でき、自己肯定感が持てる幼稚園
- (3) 教師が明るく元気で、学び合い・高め合い・協力し合う、活気ある温かい幼稚園
- (4) 家庭と連携協力し基本的な生活習慣と社会性の育成を図り子育て支援に努めて共に歩む幼稚園
- (5) 地域社会や小中学校と協力して、育ちの連続性を見通した連携を進める幼稚園
- (6) 危機管理と安全指導に努め、安全で安心して過ごせる幼稚園

3 本年度の重点施策

(1) 幼児期の豊かな学びを支え、確かな学びが得られる保育の充実

- ①利南幼稚園との保育交流や行事交流を充実させると共に市立保育園や私立こども園との交流の方法を探りながら、幼児たちが多くの友達との関わりの中で、相手の気持ちや考えを理解し、仲良く協力していくことができるような援助のあり方を工夫する。
- ②幼児たちの興味や関心に即した主体的な活動の中で、様々な体験を積み重ねさせ自己肯定感を感じつつ確かな学びができる環境作りをする。
- ③保育の反省・評価、個人記録の蓄積を通し、一人一人の幼児に応じた環境の構成や援助のあり方を工夫する。
- ④職員間の連携や保育カンファレンス、研修により多面的な幼児理解を通して指導力の向上につなげる。
- ⑤他園との交流において実践研修を積み重ね分析、考察を通して保育の充実と指導力の向上を図る。

(2) 健康な心と体を育てる生活習慣の育成

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、家庭と連携して健康な体づくりと生活習慣を確立する。
- ②野菜などの栽培活動を通じて食べ物への興味や関心を高めながら、実際に収穫した野菜を調理して食べる経験を計画的に取り入れるなどして食育を推進する。
- ③運動の要素を取り入れた遊びを工夫し、楽しく体を動かしながら基本的な運動能力の向上を図る。

(3) 安心・安全の確保【家族で本を読みましょう】

- ①安全点検を元に園内の環境を整えて、幼児が安全に過ごせる幼稚園作りをする。
- ②危機管理マニュアルや安全確保に関わる事項を周知徹底し教職員の意識と実践力を高める。
- ③交通安全指導や災害時の避難訓練を通して、安全への意識を高め危機回避能力を身につけさせる。

(4) 家庭・地域・関係機関と連携した教育活動の推進

- ①保護者に幼児の育ちや学びを具体的に伝え、共に成長を喜び合える信頼関係作りをする。
- ②絵本が幼児の心の成長に大切なことを知らせ、親子読書の意識を高める。【家族で本を読みましょう】
- ③地域の人との交流や利南幼稚園との交流行事を通じて伝統芸能を体験したり、サクランボ狩りやブドウ狩りなど沼田の自然や魅力を知り、郷土愛を育んでいく。【ぬまた未来創造学】
- ④小中学校と互惠性のある交流や育ちの連続性を踏まえた連携を図り、幼児の成長を支える。
- ⑤薄根幼小中PTAスローガン「子どもは地域の宝物、ほめて叱って励まして、みんなで育てる薄根っ子」を基に地域の教育力を活用する。【幼小中連携・一貫教育】

1 研修主題及び設定の理由

～研修主題～

主題 幼児が楽しく主体的に学ぶ保育の充実

副主題 ～地域に目を向け、発見や気づきを楽しむことを通して～

子どもの実態との関わり

- ・昨年度までの園内研修を通して、人と関わる力とともに地域への興味や関心が高まってきた。
- ・年長1学年2名という園生活になり、慣れ親しんだ兄弟のような関係の中、更に関わりを深め、友達と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを感じているが、互いの思いがぶつかり葛藤したりする場面が少なく、友達からの刺激や影響も画一的である。
- ・園内では、自分の考えを伸び伸びと発信する姿が見られるが、慣れていない大人数の友達の前になると、遠慮してしまったり自分から仲間に入ったりすることに躊躇してしまう姿がある。

指導の在り方との関わり

- ・地域への興味や関心が高まってきていることを機に、更に地域に目を向け、興味や関心に沿って自ら発見や気づきを得る嬉しさを積み重ねていくことで、主体的に学ぶ姿につながっていくようにする。
- ・地域や他園と交流する機会を計画的に作り、色々な人の考えに触れながら自分自身の興味や関心を広げていけるようにする。
- ・他園の友達と交流させてもらう際は、集団の中で様々なことに主体的に関わっていく力をつけていけるよう、幼児の主体的、自立的な行動を促したり、見守ったりしながら交流の充実を図るようにする。

2 研修内容・方法

(1) 具体化した目指す幼児像

- ・興味や関心をもった遊びや活動に自ら関わり、楽しくやる気をもって取り組むことができる幼児。
- ・自らの意思や考えで行動し、地域や様々な友達と関わりながら学びを深めていける幼児。
- ・自分の思いや考えを伸び伸びと表現できる幼児。

(2) 具体化した目指す幼児像を達成するための共通実践する手立て

- ・幼児の興味や関心を見逃さず、興味のある事や遊びに熱中しながら、学びを深める楽しさを味わえる環境を工夫していく。
- ・利南幼稚園をはじめ、他園の子供達と継続的に関わりをもち、幼児同士育ち合える環境をつくる。
- ・教師は、幼児の思いや願いに寄り添い、共感したり、一緒に考えたりし、自己肯定感を高めていけるような関わり方を意識する。
- ・地域の人や様々な友達の前で自分の思いや考えを表現したり、質問したりする機会を設ける。

3 研修計画・経過報告

4 これまでの研修の成果と今後の取組

○成果

- ・利南幼稚園をはじめ、他園の様々な個性をもった異年齢の子ども達と関わることを通して、人と関わることに自信を深め、社会性や協同性を育むことができた。
- ・地域に目を向け、郵便局、果樹園組合、薄根太々神楽など、地域の人と一緒に関わったり、本町通り、沼田公園を散策したりし、子どもの興味・関心を広げてきたことで、自ら発見や気づきをえる嬉しさを感じ、様々なことに主体的に関わっていく力がついた。
- ・指導主事訪問での助言を受け、池田小学校とも交流を図れたことで、池田小学校に入学する幼児の期待や安心感、スムーズな接続に繋がった。







○課題

- ・年間を通した利南幼稚園との交流では、少ない会議の中で交流計画をまとめていかなければならず、特に運動会や夏祭りなど大きな行事は、電話やメールのやり取りだけでは難しい時もあった。

○今後の取組

- ・就学を間近に控え、何事にも関心をもち主体的に学べる姿勢を身につけられるよう、小学校をはじめ色々な人との関わりを継続していく。

3 研修計画・経過報告

月	研修計画 [内容]	経過報告 [○研修の視点(上段)・明らかになったこと(下段)]
4. 15 4. 18	研修計画、内容の検討 保育実践研修	○幼児の実態や課題、研修の方向性、目指す幼児像について ○地域に目を向ける【沼田散策、沼田公園お花見】
4. 23		・昨年度の研修の成果を生かし、子ども達の興味が高まった地域巡りを取り入れたことで、幼児の興味・関心を引き出すことができた。 ・沼田の行きたい場所を自分達で決め、歩いて巡り、沼田の名物をその場所へ行って味わえたことで、沢山の発見や気づき、お店の人へ自分で質問する姿も見られた。 ○さくらんぼの受粉体験、利南幼稚園の友達との交流 ・組合長から受粉について教えてもらい真剣に作業していた。
5. 7 5. 15 5. 22	保育実践研修 	○ちぐさこども園との交流(1回目) ・少人数同士の関わりとは違う姿が見られ、2人にとってとても良い経験となっている。交流を重ねていく中で、2人が多人数の中でも主体的に遊びに関われるよう、教師は時に自立的な行動を促すことも大切である。 ○利南幼稚園、ALTの先生との交流 ○さんさん森の幼稚園との交流(1回目) ・初めての交流であったが、4月から色々な園との交流経験があることから、自分達から積極的に遊びに誘う姿が多く見られた
6. 11 6. 12	保育実践研修 	○利南幼稚園との交流 ・互いに少人数園なので、交流の際は多人数で楽しめる遊びを一緒にできるようにしたり、各園でしている遊びを教え合えたりできるよう事前に教員同士が打ち合わせをしておくことで、協同性が発揮された取り組みとなった。
6. 4		○地域に目を向ける 【さくらんぼ狩り】 ・受粉体験からさくらんぼ狩りを体験し、自分たちの作業から実がなったことに喜びを感じ、自己肯定感も高まった。
6. 17		【薄根郵便局の方々との触れあい】 ・郵便局の方々と触れあう中で、局内に毎月2人の作品を掲示してもらえることになり、郵便局の方をはじめ、郵便局を利用する地域の方にも「いつも作品を楽しみにしているんだよ」と褒めてもらい、地域の方との関わりが深まった。
7. 3 7. 11	保育実践研修 	○ちぐさこども園との交流(2回目) ・5月の交流では多人数に圧倒され、担任を頼りながら友達と関わる姿が見られたが、今回は教師が子ども同士をつなげることを意識したことで、徐々に担任から離れ、興味のある遊びの仲間に入ることができていた。 ○白沢保育園との交流(1回目) ・年少児と手を繋ぎ、公園まで散歩に出掛けた。歩調を合わせて優しく声を掛け、年下の子を思いやる姿が見られた。 ○利南幼稚園との交流夏祭り会 ・お店や景品の相談をしながら、準備を進めていく中で、自

		分たちのお祭りという意識をもち、利南幼稚園の友達と協力しながら主体的に夏祭りを楽しむことができていた。
8. 28	保育実践研修	○地域に目を向ける（ブルーベリー狩り、ぶどう開園式） ・地域の果物狩りを毎年経験できていることで、果物の品種にも興味をもちながら地域の良さを味わっていた。
9. 17	保育実践研修 	○さんさん森の幼稚園との交流（2回目） ・前日から楽しみにし、相手のことを考え、ロッカーの場所を用意していた。前回よりも相談しながら遊びを進め、年下の友達に対しての接し方も考えて遊びを進めていた。友達と関わる力が高まっているように思われた。
9. 18		○利南幼稚園との交流 ・運動会前に交流を計画し、運動会に向けての活動を行ったことで、一緒に協力して運動会を成功させようという気持ちが高まっていた。
10. 4	保育実践研修 	○利南幼稚園との交流運動会 ・継続的に交流してきたことで、園児たちは互いに力を出し合い競い合いながら、笑顔で満足し運動会を終了できた。
10. 27		○さんさん森の幼稚園との交流（3回目：交流焼き芋会） ・「さんさんの子たちも呼んだらどうかな」との子どもたちの声から交流焼き芋会が実現した。準備も一緒に行うことができ、芋の包み方を丁寧に教える姿があった。「なんの葉っぱで芋を焼いているの？」「桜の葉だよ」などの会話場面もあり、互いに学び合い、楽しく焼き芋を味わう姿があった。
10. 30		○さんさん森の幼稚園との交流（4回目：ハロウィンパーティー）
11. 5	指導主事訪問	○研修内容について指導助言を受け、今後の研修に生かす。 ・池田小学校とも交流の充実を図ることで、小学校へのスムーズな接続につながる。
12. 16	保育実践研修 	○白沢保育園との交流（2回目） ・就学が近いため、年長児（15名）との交流を計画した。朝の会から一緒に過ごし、ドッジボールや椅子取りゲームなどの集団遊びを一緒に楽しむことができた。同年齢の友達と一緒に過ごす楽しさを味わうことができた。
12. 19		○池田小学校1、2年生との交流 ・校長先生、小学校の先生方も一緒に関わりをもってくれた。別れの際「4月待ってるよ」と声をかけてくれたことで、池田小に入学する幼児はとても安心した良い表情であった。
1. 19	保育実践研修 	○地域の伝統、文化に触れる【薄根太々神楽】 ・薄根に代々伝わる舞から幼児が分かり易い演目を演じてもらった。魚を釣る場面で幼児も舞に参加し、楽しく体験させてもらったことで、薄根の伝統芸能への関心が深まった。
1. 29	研修のまとめ	○地域の伝統、文化に触れる【上州面友会】 ○成果、課題、今後の取り組みについて

＜職員一覧＞

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
園長	小室 昌頭	教諭	磯貝 理恵 北野 法子	用務員	斎藤 澄夫